



坂町マスコットキャラクター
坂 うめじろう

としょかんだより

坂町立図書館 No.74
令和5年3月
電話：886-3280

にんきの本



『のびーる国語慣用句』

こくごかんようく

ほそかわ たいすけ
細川 太輔/監修



『いち・にの・さんかんび』

くすのき しげのり/作 こぼ ようこ/絵



『本当に怖いストーリー闇の旅人』

ほんとう こわ

やみ たびびと

やみつき れい
闇月 麗/著

ちょこっと情報

新しく「10歳までに読みたい世界名作」シリーズが揃いました。挿絵も親しみやすいものに変えられ、進んで読みたくなるよう工夫されています。時代を超えて、世界中で読みつがれてきた名作。さまざまな国の文化にふれてみてください！



こんかいは
図書館が
テーマだよ

おすすめの本

91トは背ラベルです

1・2年生へ



『ほんをひらいて』

トニ・モリスン/文 S・ストリックランド/絵



ほるぷ出版

棚にならんでいる本は、みんな開かれるのを待っている！本は探検したり、考えたり、夢をみたりするのを手伝ってくれるんだ。「ほら、ルーズ、本を開いて…」開けば、いろいろな世界が見えてくる。本を読むことによって生まれる可能性や本のすばらしさを教えてくれる絵本です。

3・4年生へ



『としょかんライオン』

M・ヌードセン/さく K・ホークス/え



岩崎書店

図書館は「決まりを守れば」誰でも入れるところです。例えばそれがライオンでも…。ある日、まちの図書館に、ライオンが入ってきました。人々は大慌て。でも、メリウェザー館長は、静かにできるなら来てもいいですよ、と言いました。図書館にライオン！みんなはどう思う??

5・6年生へ



『図書館のふしぎな時間』

福本 友美子/作 たしろ ちさと/画



玉川大学出版部

お母さんと国際子ども図書館にやって来たユリカの前に、イギリスの古い本の中に住んでいる妖精が現れ…。妖精の案内で、ふしぎな図書館めぐりが始まります。100年前の建物を利用した図書館は、古今東西の物語に出会えるふしぎな空間。



としょかんのひみつ



皆さんは学校の図書室や図書館の本の並び方を、不思議に思ったことはありませんか？本の並び方にもルールがあります。これは「日本十進分類法」という方法で、全国共通で決められています。本を十の種類に分け、番号を「分類記号」として本の背ラベルにつけて、分類しています。図書室や図書館の本には、この分類記号と作者の名前を記号にして書いたラベルがはられています。必要な本を探す時は、このラベルを参考に探してみてください。分からない時は、職員に聞いてみてね！

